

日本教育史部門

「高度経済成長期教育史」研究部会（第6回）

日時：2022年9月21日（水）13:00～15:30

場所：オンライン

出席：米田俊彦・大島宏・須田将司・鳥居和代・西山伸 兼任研究員

山口和人所長・吉久知延・川上智子（野間教育研究所事務局）

欠席：金沢千秋

内容：（1）西山研究員「文部官僚のオーラル・ヒストリーにみる高度経済成長期」

今回使用したオーラル・ヒストリー対象者

天城勲（文部事務次官）、木田宏（大学学術局長）、西田亀久夫（大学学術局学生課長）、齋藤正（文部事務次官）、村山松雄（文部事務次官）、清水成之（文部省管理局長）

- 1 大学管理法・三八答申・期待される人間像
- 2 高度経済成長期の拡大
- 3 大学紛争（1）大学の運営に関する臨時措置法 （2）紛争に対する評価
- 4 四六答申
- 5 その他（1）入省の経緯 （2）1950年学生運動の対応

（2）大島研究員「沢井実『日本の技能形成』と『技能形成の戦後史』について」

- 1、『日本の技能形成 製造現場の強さを生み出したもの』（名古屋大学出版会 2016）

「第8章 戦後への展開—昭和20年代から高度成長へ—」

①戦後の概観 ②普通教育への注目 ③二重通学問題

- 2、『技能形成の戦後史—工場と学校をむすぶもの—』（名古屋大学出版会 2021）

「序章 技能形成の両論—職業訓練と職業教育」「第1章 中教審による職業教育再編の模索—高校進学率上昇の衝撃」「第2章 職業訓練政策をめぐる力学—新職業訓練法の成立まで—」「第5章 高卒技能者時代の到来—学歴・職業関係の変容とその影響」「第6章 変わりゆく工業高等学校—卒業生の軌跡と直面する諸問題」「第7章 公共職業訓練の変遷と苦闘—高校進学率上昇への対応」「第8章 各種学校の量的拡大と発展—もう一つの学校における実務能力・技能の養成」「終章 高校進学率の上昇と技能形成の変貌」

・高校進学率の上昇と高卒技能者の採用の関係

50年代後半から高卒技能者は採用されている 中卒者の集団就職は継続

→関連はあるが、「因果関係」で説明してよいか？

・教養教育・一般教育の重視

技能形成にあたって、政府・企業は教養教育・一般教育を重視

養成工や定時制高校生徒も「教養」を求めている

・次回研究会 10月14日（水）13:00～

・次々回研究会 11月18日（金）13:00～